

令和7年度第2回中区政策会議学生部会 報告

Q.計画案策定に向けての考え方（計画案策定の考え方をはじめ将来像実現のための重点事業、各分野別要素、成果指標（KPI）の内容等）についての意見

■ 全般

- 指標の具体化がなされており、以前より感覚的でなく、データに基づいた指標が生まれたため、達成度が分かりやすくなったと考える。

■ 将来像実現のための重点事業

- 水賀池公園周辺が整備されて綺麗になったら、行ってみようというきっかけになるので、取組を進めることは良い。知らないと行く機会も無いので、知ることが大事であるし、周知することが大事だと思う。
- 泉北高速鉄道が南海泉北線となり、運賃の見直しがあったことで深井駅を使う機会が増えた。周辺地域のニーズも増えるのではないかと思うので、この機会に活性化させることは良いことだと考える。
- 重点事業を推進することにより、様々な分野の取組が行われ、KPIが上昇する場所になると考えられる。
- 重点目標に掲げる歩行者空間の形成をすることは駅前からのポイント同士のアクセスが向上することでより利用者の増加や快適性などが上昇すると考える。

■ 分野別要素「安全」

- 防災について、引っ越してきた人は自分がどこの小学校区か分からず、避難所もどこか分からないので、どこへ避難するべきかの情報が入手しやすくなれば良い。
- 治安について、長年住んでいるとその地域の状況が普通であり、治安の良し悪しが判断しにくいいため、犯罪件数といった客観的な指標を設定することは良いと考える。

■ 分野別要素「歴史文化」

- 注染や土塔について、どういったものであるかを知らなかった。取組方針で「伝統産業の活性化・認知度の向上」「地域資源の魅力発信」とあるので、取組を進めて魅力発信を積極的に行う必要があると感じた。

■ 分野別要素「交流」

- 自治会の方々とお話する機会があった際、地域での防災や清掃の取組を知り、自治会活動が必要なが分かったので、加入率を目標として定めることは良いと思う。
- 自治会加入率の指標が生まれることで、指標から分かる住民同士の繋がりが可視化され、いざとなったときの防犯、防災の体制を考えることができると思う。